

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	大浜 一郎(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 万国津梁会議について</p> <p>ア 県議会経済労働委員会参考人招致等について</p> <p>イ 米軍基地に関する万国津梁会議の政策的出口等について</p> <p>2 八重山地域の離島振興について</p> <p>(1) 八重山地域における諸課題への進捗状況及び対処方針について</p> <p>ア 一般県道石垣空港線の進捗状況について</p> <p>イ 石垣空港滑走路延長要請への対処方針について</p> <p>ウ 石垣空港国際線ターミナル改築への対処方針について</p> <p>エ ゴルフ場を含むリゾート施設建設への対処方針について</p> <p>オ 西表島北岸エリアの通信電波障害等への対処方針について</p> <p>カ 西表島仲間港の台風時浸水状況の把握と、再整備の対処及び仲間港、小浜港の駐車場拡大整備の必要性への対処方針について</p> <p>キ 波照間島漁港への運航海運会社の施設改善要求等における対処方針について</p> <p>ク 与那国島田原川の整備を含む大雨被害後の復旧整備進捗状況等について</p> <p>ケ 与那国島県道217号線整備の進捗状況について</p> <p>(2) 八重山地域の離島医療体制における対処方針について</p> <p>ア 西表島西部診療所常駐医師の配置等について</p> <p>イ 県立八重山病院隣接地への急患搬送用ヘリポート設置及び「ヘリ添事業」実施要項の添乗者についての規定見直し等要請に対する対処方針について(石垣市議会、八重山広域市町村圏事務組合議会による要請)</p> <p>ウ 旧八重山病院跡地に民間病院を移設する要請に対する対処方針について</p> <p>3 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	具志堅 透(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 首里城火災について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 原因究明について伺う。(2) 初期消火について伺う。(3) 消防設備及び消防訓練について伺う。 <p>2 「万国津梁会議」設置支援業務について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 知事と仲間たちの飲食問題について伺う。(2) 徳森氏、鈴木氏、島袋教授と知事の関係について伺う。 <p>3 知事訪米について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 訪米日程と目的について伺う。(2) 参加人数とそれぞれの役割について伺う。(3) 費用について伺う(知事・随行職員・現地採用等)。(4) ワシントン事務所の役割について伺う。 <p>4 北部地域医療の充実強化について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 北部基幹病院の早期整備について伺う。(2) 北部病院における医師不足解消について、県の方策を伺う。 <p>5 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	照屋 守之(沖縄・自民党)	知事及び関係部長
質問要旨			
<p>1 首里城火災について</p> <p>(1) 首里城火災の原因究明・災害対策及び再発防止については、管理責任者である県の責任で明確にする必要がある。見解を問う。</p> <p>2 平成30年度感染症対策補助金について</p> <p>(1) 県の説明では、国から補助金がもらえず県の一般財源で充てた。ところが、国に対して補助金の実績報告書を提出している。説明を願う。</p> <p>3 玉城知事の契約前夜の受託者との会食及び万国津梁会議の委託について</p> <p>(1) 玉城知事は10月10日の会見で癒着疑惑について猛省しわびている。約2400万円の公金支出に係る問題である。玉城知事は責任をどのようにとるか説明を願う。</p> <p>(2) 万国津梁会議の積算、要綱、契約、実施等、適切・不透明な部分が多い。山形の鈴木代表、沖縄事務所の徳森さんも一切説明がない。なぜこのような不透明なやり方で委託したか説明を願う。</p> <p>4 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	座喜味 一幸(沖縄・自民党)	知事及び関係部長
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 知事の契約業者との会食問題及び談合疑惑について</p> <p>(2) 国から県に管理移管、9カ月にして首里城焼失という残念な事態となった。移管作業に課題があったのではないか。</p> <p>2 農業振興について</p> <p>(1) 収入保険への加入状況と台風・災害被害による減収で、補償される推定金額について伺う。</p> <p>3 下地島空港残地の利活用について</p> <p>(1) 県有地の無償農業利用者の実数と対応について</p> <p>(2) 未登記県有地の面積、筆数、それらの対応について</p> <p>(3) 参入事業者との基本協定合意の見通しについて</p> <p>4 宮古広域県営公園の実施計画について伺う。</p> <p>5 我が党の代表質問との関連について</p>			

※最初の質問から一問一答方式を選択

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	中川 京貴(沖縄・自民党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 万国津梁会議問題について</p> <p>(2) トークキャラバン事業について</p> <p>(3) 埋立環境問題について知事は、那覇軍港の浦添移設は新基地でなく、あくまでも代替施設であり、県内移設でなく、那覇港湾区域内の移動である。埋立行為そのものは、自然破壊を伴うが、やむを得ないと言っている。辺野古移設も全く同じであるが、なぜ対応が違うか伺いたい。</p> <p>2 米軍基地問題について</p> <p>(1) 嘉手納基地、普天間基地から発生する騒音、悪臭、被害について今後どのようにして解決していくか伺いたい。</p> <p>(2) 米軍嘉手納基地でのパラシュート訓練が地域住民の反発を招いている。2007年の日米合同委員会の合意を根拠としているようだが、県として例外規定の撤廃を求める取り組みについて伺いたい。</p> <p>(3) 本土復帰後、沖縄県の基地の整理縮小返還に伴い、実績と結果(返還日、返還地、面積)、今後の対策について伺いたい。</p> <p>(4) 整理縮小後の基地の面積について伺いたい。</p> <p>(5) 軍用地料及び基地関連収入について伺いたい。</p> <p>(6) 日米地位協定改定について、県の取り組みと対応を伺いたい。</p> <p>(7) 在日米軍人・軍属、契約従業員の数と予算について伺いたい。</p> <p>(8) 在沖米軍人・軍属、契約従業員の数と予算について伺いたい。</p> <p>3 沖縄振興について</p> <p>(1) 令和2年度税制改正について</p> <p>ア 沖縄振興税制の措置期限について伺いたい。</p> <p>イ 沖縄型特定免税店制度について伺いたい。</p> <p>ウ 航空機燃料税の軽減措置について伺いたい。</p> <p>エ 電気の安定的かつ適正な供給の確保に係る措置について伺いたい。</p> <p>オ 揮発油税及び地方揮発油税の軽減措置について伺いたい。</p> <p>4 犬・猫殺処分ゼロについて</p> <p>(1) 令和2年度に向けて、犬・猫殺処分ゼロにするための課題と今後の取り組み、目標数値を伺いたい。</p> <p>(2) 平成28、29、30年度の犬・猫の收容された頭数と殺処分された頭数、また、ボランティア団体による譲渡会の回数と頭数。</p> <p>(3) 愛護センターと愛護団体との協力体制強化について伺いたい。</p> <p>(4) 各メディアを駆使した飼い主に対する啓蒙活動について伺いたい。</p> <p>(5) 違反ブリーダー・ペットショップの取り締まりについて伺いたい。</p>			

- (6) 動物愛護団体に対する支援制度について伺いたい。
 - (7) 犬・猫殺処分ゼロ愛護団体との連携による県営保護シェルターについて伺いたい。
- 5 社会資本整備について
- (1) 国道・県道・高速道路の交通渋滞の現状と対策について
 - (2) 県内の完全失業率は2%台を維持するなど、好景気にあるが、一方で企業は人手不足が深刻度を増している。特にバスの運転手不足は深刻で主要4社の路線バスの10.5%も減少している。その要因の一つに待遇問題があるが、改善方策について、県の支援、取り組みについて伺いたい。
 - (3) 県内におけるタクシー会社の数と従業員数・雇用体制等、県からの支援について伺いたい。
 - (4) 北谷町県道24号線バイパス整備事業は、当初の完成予定年度から大幅なおくれとなっている。土地調査のための立ち入りを米軍が拒否しているとしているが、当初事業計画を決定するに当たって、米軍への立入調査について国と協議は調っていたか、県と国及び米軍の間で認識の違いがあるのではないかと伺いたい。
- 6 水産観光振興について
- (1) 海の牧場・海洋牧場について
 - (2) 釣り公園・釣り文化振興モデル港の指定について
 - (3) パラオ海域における沖縄漁船操業について
 - (4) 漁船・遊漁船・ダイビング業者・マリンレジャー(サーフィン)への支援対策について(数も含む。)
 - (5) 沖縄県におけるマリーナ施設の件数と需要と供給と今後の必要性について(山積する課題や要望について)
- 7 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	金城 勉(公明党)	知事及び関係部長

質 問 要 旨

1 首里城再建に向けて

- (1) 火災の原因究明について、取り組み状況と今後の見通しを伺います。
- (2) 首里城周辺の観光事業者への対応を伺います。
- (3) 再建のための支援金の取り扱い方についてどのように検討されているか。
- (4) 再建計画案策定に向け、国、県の役割、取り組みを伺います。

2 次期沖縄振興計画について

- (1) 県振興審議会で21世紀ビジョンの成果と課題について検証作業がなされたが、取りまとめの時期と検証内容の公表時期はいつか。
- (2) 2022年度以降の次期振興計画策定についての考え方はどうか。
- (3) 基地問題で厳しい関係にある国と県の現状で、予算や税制などが伴う次期振興計画について、建設的な協議ができるか懸念の声があるがどう克服するか。

3 次年度予算の取り組みについて

- (1) 沖縄振興一括交付金が年々減額されてきました。次年度予算の確保の見通しはどうか。
- (2) 一括交付金減額による市町村事業への影響を把握しているか、また、どのように対応しているか。

4 観光振興について

- (1) 2018年度の入域観光客数が県の発表で999万9000人から1000万人を超えていたとの訂正があった。その誤報の原因と影響について伺います。
- (2) 第2滑走路完成後の那覇空港の離発着回数が24万回に増加するとされているが、嘉手納ラプコンとの飛行調整の日米協議は調ったのか。

5 経済振興について

- (1) 観光産業などが活況を呈し、人手不足が叫ばれる状況にありながらも、県民所得は全国で最下位という厳しい位置にある。その克服の戦略はあるか。
- (2) 生産性の現状と、向上への取り組みをいかに図るか。県の役割、責任をどう考えるか。

6 雇用問題について

- (1) バブル経済が崩壊した1990年代前半から2000年代前半に学校卒業時期を迎えた就職氷河期世代が、非正規など不安定な就労環境に陥っていることから、政府は、官民協議会を設置して国が先頭になって就労支援の取り組みを始めました。国家公務員への採用や地方自治体、民間企業への協力依頼など積極的に動き出しています。沖縄県としても就職氷河期世代への就労支援の取り組みが求められております。県内における実態と対応について伺います。
- (2) 教員の超過勤務や過重労働の改善が進んでいないとの指摘があります。その原因は何か、また、次年度に向けた改善策はどうか。
- (3) 県内高校生の就職内定率が低い。実態と対策を伺います。

7 ひきこもり対策について

- (1) ひきこもりの問題が深刻な社会問題として注目を集めています。8050問題として県内でも

注目を集め、約7000人の中高年のひきこもりがいますとされています。マスコミ報道によると、県は2017年度に実態調査を実施しましたが中途半端に終わり、調査結果の公表もなされないまま放置されたとのことであります。予算をかけて調査したにもかかわらず調査結果が生かされない理由は何か。また、ひきこもり問題に対する今後の県の対応を伺います。

- (2) 高齢者の親とひきこもりの子供が同居する家庭の状況を放置することで予想される問題は何か。
- (3) ひきこもり専門支援センターの活動実績と支援状況を伺います。

8 福祉医療問題について

(1) 幼保無償化について

- ア 10月1日から幼保無償化がスタートしました。その反響、課題をどのように把握していますか。
- イ 保育士の処遇改善について、国は平成24年度から毎年改定を重ねてきました。また、技能・経験に応じた処遇改善も実施しております。さらに、県も独自の支援事業に取り組んでいます。保育現場からは、まだまだ保育士の賃金が低いとの声があるようですが、県の現状分析と対策を伺います。
- ウ ICT活用など保育現場の効率化、省力化が求められますが、県内の現状と対策はどうか。

- (2) 子供医療費無料化を中3まで拡大することについて、市町村との調整や実施時期の検討状況はどうか。

- (3) 県内における養育費不払いの実態と対策はどうか。

(4) 障害者支援について

- ア パーキングパーミット制度導入について、県はこれまで国の動向を注視しながら検討を進めてきました。県内での早期導入が求められております。対応を伺います。
- イ ICT活用による障害者の在宅就労支援について

9 防災・減災対策について

- (1) 今年も台風15号や19号が甚大な被害をもたらしました。千葉県や福島県、長野県など各地域で避難生活を余儀なくされた人々が出ました。その際問題になったのは、災害避難所の環境問題であります。避難所は体育館や公民館など公共施設などに受け入れているが、プライバシー保護や防寒対策などに大きな課題が指摘されています。沖縄も台風来襲の頻度は高い場所です。県内での避難所の環境整備について県の考えを伺います。

- (2) 災害時のホームレス対策の考えを伺います。

10 基地問題について

- (1) 普天間飛行場の危険性除去をいかに進めるか。
- (2) 辺野古問題の今後の取り扱い方をどうするか。

- 11 沖縄における各種選挙で違法ポスター、違法のぼり、違法看板等々、法令違反のみならず観光立県の立場からも看過できない実態があります。明年の県議会議員選挙でクリーン選挙を実施するための課題と対策を伺います。

- 12 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

令和元年第6回沖縄県議会(定例会)

12月09日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	上原 章(公明党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 保育行政について

- (1) 「待機児童ゼロ」の目標達成を断念した経緯と今後の取り組み(課題、対策、見通し等)を伺います。
- (2) 保育士の確保、処遇改善は喫緊の課題です。保育士資格を持つ「潜在保育士」の復職サポート及び処遇改善の取り組み、効果を伺います。
- (3) 近年、保育現場の実態という観点から保育士の配置基準を緩和しようという取り組みが進んでいます。当然、保育の質を落とさないという前提ですが県の対応を伺います。
- (4) 知事の公約でもある「幼児教育・保育の無償化」について評価を伺います。

2 県立病院における分娩介助料の費用について

- (1) 今回、県立病院は出産に係る費用分娩介助料を1人につき3万4000円値上げするとのことだが、これは現行12万6000円から約27%値上げし16万円にするということです。国は出産育児一時金を拡充し少子化対策に取り組んでいるが、今回の料金改定は子育て支援から大きく逆行していると思うが、知事の見解、真意を伺います。
- (2) 分娩介助料を改定した場合の全国の県立病院との比較を伺います。

3 「介護職員等特定処遇改善加算」が創設され、10月から運用が始まりました。介護福祉士の処遇改善、介護人材の確保に向け意義は大きいと考えます。内容と県内の取り組みを伺います。

4 国は、経済的に厳しい状況に置かれがちな未婚のひとり親に対し、今年度の臨時・特別措置として給付金の支給を決めました。重要な取り組みと思うが内容と県内の取り組み、評価を伺います。

5 ドクターヘリ、防災ヘリについて

- (1) 南部医療センター・こども医療センターの敷地内にヘリポートの設置が必要と思うが見解を伺います。
- (2) 防災ヘリ導入に伴う、運航安全管理官の配置、自主運行体制及び先島諸島・南北大東島等が無給油で飛行できるヘリ導入について見解を伺います。

6 雇用行政について

- (1) 国が推進する「業務改善助成金」、「キャリアアップ助成金」の内容と県内の取り組み、効果を伺います。
- (2) 県独自の正規雇用化対策の取り組み、効果を伺います。
- (3) 国は全ての世代の人々が希望に応じて意欲・能力を生かし活躍できる環境整備を進めるため、「就職氷河期世代支援プログラム」を立ち上げました。県内の対応と県の取り組みを伺います。

7 教育行政について

- (1) 「県外進学大学生奨学金」及び「専修学校奨学金給付事業」の取り組み、効果を伺います。
- (2) 大学入学共通テストの実施に伴う英語民間試験の延期について

ア 国は抜本的な見直しを行った上で、2024年度から新たな制度で実施すること。見解

を伺います。

- イ 民間試験の導入は、英語の「読む・聞く・話す・書く」の4技能をはかることを目的としたものです。大学入試で4技能を評価することの重要性について伺います。
- ウ 中高生の英語力を底上げするために実用英語技能検定(英検)等の推進は重要と考えます。県は21世紀ビジョンにも指標を掲げているが、取り組み及び公平な教育機会の享受の観点から検定料の助成(低所得世帯対象)を検討できないか伺います。

8 我が党の代表質問との関連について